

市民公開シンポジウム

レッドリストと生物多様性の危機

魚を絶滅させないためのリストづくり

レッドリストには日本産汽水・淡水魚の約3分の1が含まれています。これらの種を絶滅させないために、いま何ができるのでしょうか？ 生物多様性条約第10回締約国会議が開催される名古屋で、レッドリストの現状と課題について一緒に考えてみませんか？

日時 2010年7月17日(土)13:00~17:30

場所 名城大学天白キャンパス共通講義棟 (名古屋市天白区塩釜口1-501)

名古屋市営地下鉄鶴舞線塩釜口駅から徒歩5分 (<http://www.meijo-u.ac.jp/guide/access.html>)

プログラム

I. 講演 — 日本の魚類に迫る絶滅の危機

淡水魚の半分はいなくなる？

細谷和海(近畿大学)

海の魚たちの現状は？ — 有明海を例に

山口敦子(長崎大学)

II. 話題提供 — 種を絶滅させないための第一歩

環境省版レッドリストとは

浪花伸和(環境省野生生物課)

魚類のレッドリスト — 何が問題か？

瀬能 宏(神奈川県立生命の星・地球博物館)

県版レッドリストで地域の希少魚類は守れるか

向井貴彦(岐阜大学)

海産魚レッドリストの検討

工藤孝浩(神奈川県水産技術センター)

市民が集めたデータで作るレッドリスト

— 維管束植物の成果と課題

芹沢俊介(愛知教育大学)

レッドリストから見た日本の昆虫の危機

石井 実(大阪府立大学)

III. パネルディスカッション — いま何をすべきか

司会/ 酒井治己(水産大学校)、パネリスト/ 細谷和海、山口敦子、瀬能 宏、向井貴彦、芹沢俊介、石井 実

参加費無料、定員150名(先着順、申込不要)

主催 / 日本魚類学会

後援 / 名城大学、愛知県、岐阜県、名古屋市、環境省中部地方環境事務所、自然環境研究センター

問い合わせ先 / 加納光樹(茨城大学): TEL: 029-966-1577, Eメール: kkano@mx.ibaraki.ac.jp

谷口義則(名城大学): TEL: 052-838-2381, Eメール: ytani@meijo-u.ac.jp

日本魚類学会は国際生物多様性年と生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の活動に協力しています。



2010年 国際生物多様性年



平成22年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)「研究成果公开发表(B)」(課題番号2255003)の交付を受けて作成しました。